

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境			0.36					3.1
1 音環境		3.0	0.15					3.0
1.1 騒音		3.0	0.40					
1.2 遮音		3.0	0.40					
1 開口部遮音性能		3.0	0.79					
2 界壁遮音性能		3.0	0.21					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-					
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-					
1.3 吸音		3.0	0.20					
2 温熱環境		3.0	0.35					3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50					
1 室温		3.0	0.42					
2 外皮性能		3.0	0.22					
3 ゾーン別制御性		3.0	0.36					
2.2 湿度制御		3.0	0.20					
2.3 空調方式		3.0	0.30					
3 光・視環境		3.2	0.25					3.2
3.1 昼光利用		3.6	0.39					
1 昼光率	昼光率 5.60%	5.0	0.32					
2 方位別開口			-					
3 昼光利用設備		3.0	0.68					
3.2 グレア対策		3.0	0.16					
1 昼光制御		3.0	1.00					
3.3 照度		3.0	0.08					
3.4 照明制御		3.0	0.37					
4 空気質環境		3.5	0.25					3.5
4.1 発生源対策		4.0	0.50					
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用	4.0	1.00					
4.2 換気		3.0	0.30					
1 換気量		3.0	0.41					
2 自然換気性能		3.0	0.19					
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.41					
4.3 運用管理		3.0	0.20					
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50					
2 喫煙の制御		3.0	0.50					
Q2 サービス性能			0.30					3.1
1 機能性		3.0	0.40					3.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40					
1 広さ・収納性		3.0	0.18					
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.18					
3 バリアフリー計画		3.0	0.64					
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30					
1 広さ感・景観		3.0	0.33					
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33					
3 内装計画		3.0	0.33					
1.3 維持管理		3.0	0.30					
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50					
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30					2.9
2.1 耐震・免震		3.0	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20					

2.4	信頼性		2.6	0.20	[Cross-hatch pattern]	-	3.4
	1	空調・換気設備	3.0	0.20		-	
	2	給排水・衛生設備	2.0	0.20		-	
	3	電気設備	3.0	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法	3.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備	2.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			3.4	0.30		-	
3.1	空間のゆとり		4.6	0.30	[Cross-hatch pattern]	-	3.4
	1	階高のゆとり	5.0	0.60		-	
	2	空間の形状・自由さ	4.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
	1	空調配管の更新性	3.0	0.20		-	
	2	給排水管の更新性	3.0	0.20		-	
	3	電気配線の更新性	3.0	0.10		-	
	4	通信配線の更新性	3.0	0.10		-	
	5	設備機器の更新性	3.0	0.20		-	
	6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.34		-	2.4
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	3.0	0.50		-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40		-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.12		-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.11		-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEIm 非住宅 0.82 住宅(専有部) -	4.0	0.55		-	4.0
	集合住宅以外の評価(3a.3b)	非住宅BEIm=0.82、LED照明設備を採用	4.0	1.00		-	
	集合住宅の評価(3c)		[Cross-hatch pattern]	-		-	
4 効率的運用			3.0	0.22		-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00		-	
	4.1	モニタリング	3.0	0.50		-	
	4.2	運用管理体制	3.0	0.50		-	
	集合住宅の評価		[Cross-hatch pattern]	-		-	
	4.1	モニタリング	[Cross-hatch pattern]	-		-	
	4.2	運用管理体制	[Cross-hatch pattern]	-		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	2.8
1 水資源保護			3.0	0.20		-	3.0
	1.1	節水	3.0	0.40		-	
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用	3.0	0.60		-	
	1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70		-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60		-	2.4
	2.1	材料使用量の削減	2.0	0.11		-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.22		-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.22		-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.22		-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材	-	-		-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	3.0	0.22		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20		-	3.7
	3.1	有害物質を含まない材料の使用	3.0	0.30		-	
	3.2	フロン・ハロンの回避	4.0	0.70		-	
	1	消火剤	-	-		-	
	2	発泡剤(断熱材等)	5.0	0.50		-	
	3	冷媒	3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	2.9
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率 = 86%	3.5	0.33		-	3.5
2 地域環境への配慮			2.4	0.33		-	2.4
	2.1	大気汚染防止	3.0	0.25		-	
	2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.50		-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制	2.7	0.25		-	
	1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25		-	
	2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25		-	
	3	交通負荷抑制	3.0	0.25		-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	2.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止	3.0	0.40		-	
	1	騒音	3.0	1.00		-	
	2	振動	-	-		-	
	3	悪臭	-	-		-	
	3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制	3.0	0.40		-	
	1	風害の抑制	3.0	0.70		-	
	2	砂塵の抑制	[Cross-hatch pattern]	-		-	
	3	日照障害の抑制	3.0	0.30		-	
	3.3	光害の抑制	3.0	0.20		-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	0.70		-	
	2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30		-	